

情報システム学会学会誌発刊のご挨拶

学会誌編集委員長

山本 喜一

2005年4月23日に行われた情報システム学会設立総会以来、はや1年が経過しようとしております。当初、学会誌を年2回発刊する計画で編集委員会を組織し、記事、論文の募集を行ってまいりました。このたび遅ればせながら情報システム学会学会誌1巻1号を発行する運びとなり、編集委員会を代表いたしまして創刊号の発行が遅れましたことを会員の皆様にお詫び申し上げますとともに、一言ご挨拶申し上げます。

本学会は、設立趣意書に述べているように、現在の社会において必要不可欠な要素となっている情報システムを、“情報の利用を望んでいる人々にとって、手に入れやすく、役に立つ形で、社会または組織体の活動を支える適切な情報を、集め、加工し、伝達するシステムであり、それは単にコンピュータを中心にした技術的なシステムを指すものではありません。むしろ、人間活動を含む社会的なシステムである”と認識し、“利用者にとって、真に有用で安全な情報システムを構築していくこと”を目的として、そのために“人間の情報行動の理解に立脚し、横断的・総合的な価値基準のもとに、その概念的枠組みあるいは社会的影響について考察する努力が必要です。そして、情報システムの企画、開発、運用、評価という実践的な活動を通して知識や技術を体系化していく”ことを目指しています。

この学会の目的を達成するためのひとつの手段として、会員相互の情報交換、研鑽の場となるべく本学会誌を発行するものです。

学会の活動として、研究会、研究発表大会が

本年度すでに開催され、多くの会員の皆様が参加されています。学会誌は、これらの学会活動と相補的な関係を保ちながら、学会内だけにとどまらず外部への正式なメッセージの発信を行うという位置付けが与えられています。

本学会誌は、会員の皆様へさまざまな情報を提供したり、ご意見を述べていただいたり、討論していただくための“記事”と、情報システムに関する知見や事例を研究としてまとめた“論文”の二つの部分から構成しております。

“記事”は、ニュース、文献紹介、解説、提言、討論、創作に分類しておりますが、会員にとって有益であると編集委員会で判定した情報を提供してまいります。当初は、何をもって情報システムと定義するのかについて、会員間にも完全なコンセンサスが得られているわけではなく、各個人の専門分野から見た情報システムという捉え方になることは十分に予想されます。本学会におけるさまざまな議論を通して、情報システムの定義が次第に固まっていくことを期待するとともに、情報システム学として体系化し、まとめていくことが望まれています。そのために、本学会誌の編集方針としてできるだけ広い分野の記事を掲載し、自分とは異なる情報システムの見方を会員の皆様に知っていただくことを一つの目標にしております。さらに、提言、討論などで提起された問題について、会員の皆様が積極的に発言され、会員相互の議論が活発に行われることを期待するとともに、本学会誌がそのための場として利用されることを切に希望しております。

“論文”には、論説を含む論文、小論文、サーベイ論文、システム論文、事例研究論文がありますが、会員にとって有益であるとともに情報システム学の体系化や進歩に貢献したり、情報

Yoshikazu Yamamoto
慶應義塾大学理工学部
Faculty of Sci. & Tech., KEIO Univ.
© 情報システム学会

システムの開発にとって有用な知見を述べていたりする必要があります。本学会では、情報システムに対するさまざまなアプローチが存在しているという事実に基づき、広範な分野の専門家からなる編集委員会を構成し、できるだけ多くの論文を迅速に掲載することを目標としております。特に、システム論文、事例研究論文として従来の学会にはなかった分類を設け、実際の情報システムの企画、開発、運用にかかわる知見を論文として掲載することを目指しております。

学会誌のもう一つの大きな特徴は、この創刊号の通りすべてオンラインジャーナルとして発行することであり、原則として年2回の刊行を継続いたします。学会誌または論文誌として広く認知されるためには、従来の紙媒体による刊行物と同様に参照できる必要があることから、半年ごとに巻・号を定め、記事・論文のそれぞれに連続したページ番号を付番いたしますが、査読を終了し採録された論文はその時点で刊行いたします。創刊号は特別な状況ですが、今後の予定として2006年7月にVol. 2, No. 1を発行し、2006年9月末までに採録された論文をこの号に含める予定です。さらに、2007年1

月にVol. 2, No. 2を発行し、2007年3月までの論文を含める予定です。その後は、4月にNo. 1, 10月にNo. 2を発行し、9月までの論文をNo. 1に、翌年3月までの論文をNo. 2に含めるという発行スケジュールを予定しております。

オンラインジャーナルとしての発行であるため、採録された論文は掲載用のレイアウトが終わり次第直ちにWebに掲載いたします。さらに、カラーの図版や写真を使用しても全く問題はなく、論文の長さの制限もさほどきつくはありません。Webへの掲載はpdfファイルであり、ほとんどすべてのブラウザでそのまま表示することができます。また、pdfファイルをダウンロードして印刷することもできます。別刷り用の表紙もダウンロードできますので、別刷りが必要な場合にはご自分で印刷してご利用ください。

情報システムという関連分野が極めて広い学会であり、学会誌の記事、論文にも広い分野の会員の皆様からのご寄稿、ご投稿を期待しておりますとともに、随時受け付けております。記事、論文のご投稿に際しては情報システム学会Webのホームページから、“論文投稿ページ”のリンクをたどり、投稿規程をご参照の上メールにてご送付くださるようお願いいたします。